

# うてな 英明

区政レポート

2020年夏号

発行元：かつしか区民連合  
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1  
葛飾区議会棟内

ひであき



政党は「無所属」、  
会派は「かつしか区民連合」で活動中。



会派・かつしか区民連合



新型コロナウイルス (COVID-19) 対策についての緊急要望書を提出

ご  
あ  
い  
さ  
つ

政党無所属になって約1年半が経ちました。政党の意見に左右されることなく、自分が葛飾区や地元のためにプラスになると信じたことに、全力で取り組ませて頂いています。また、区議会においては、同じような政党無所属議員を中心に5名で「かつしか区民連合」という会派を作り、活動しています。かつしか区民連合として、青木克徳区長と政策協定を結び、それを前提として協力体制を構築しています。皆様の声を届けられるように、今後も、全力で取り組んでまいります。

## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

# 対策について、区に問う!!

### 令和2年第2回定例会 一般質問に登壇



Question  
1

第二波が懸念される中で、葛飾区地域防災計画に感染症編や複合災害編を追加するなど、長期的な視点でも対策を講じていく必要がある。今後、第二波が懸念される中での対策と展望について、区の見解は？

#### 回答

今回の新型コロナウイルス感染症で明らかとなった課題も踏まえて、危機管理・防災担当部と健康部が連携して、災害時の感染症対策についても拡充していく。今後、発生が懸念される第二波に対応するため、PCR検査の更なる拡充など、医療体制についても調整する。

Question  
2

今後、長期化することを見据えて、経済状況の悪化に伴う相当な税収の減少が想定され、大幅な見直しが必要不可欠であると考える。財源確保策の更なる検討と今後の財政運営について、区の見解は？

#### 回答

経済状況の悪化に伴い、本区の財政運営に多大な影響を与えることが見込まれるため、今年度の予算枠組みを見直すことも視野に、スピード感を持って柔軟な財政運営を行う。

Question  
3

財政悪化が懸念される状況下で、この難局を乗り切るために、予算の見直しも権限に含めるCOVID-19対策特別チームを作っていく方法もあると考えるが、区の見解は？

#### 回答

新型コロナウイルスが今後、どのような影響を及ぼすのかを見極めながら、必要となる対策に対して時期を失することなく必要な権限を備えた組織整備を柔軟に図っていく必要がある。新たな課題にも対応できる、より効率的で効果的な組織の在り方について検討する。

Question  
4

先進技術の活用は必要不可欠であり、ICTを活用した区の将来的な考え方を示すことは、今後の提供サービスを考える上で重要だと考える。導入したチャットボット等の更なる活用と業務の効率化について、区の見解は？

#### 回答

チャットボットをはじめとする各種ICTについて、積極的に活用を図るとともに、実施や試行において見えた課題については改善を行うことで、より一層の効果的・効率的なサービス提供体制等を検討し、業務の効率化や更なる区民サービスの向上を推進する。

Question  
5

学校現場も大いに混乱している。第二波が来ることを想定すれば、オンライン授業の普及も整備していく必要がある。端末としてタブレット等を児童・生徒に配布し推進していくなど、国が進めるGIGAスクール構想との整合性を持った形での教育ICTの導入を実現していく必要があるが、区の見解は？

#### 回答

国が進めるGIGAスクール構想の加速による1人1台タブレット端末の整備を遅滞なく進め、ICTの活用により全ての児童・生徒の学びを保障できる環境の実現に取り組む。



Question  
6

オンライン授業の活用などにより、教室以外の場所で授業を受けることができるのであれば、不登校などで悩んでいる児童・生徒へのアプローチ方法の一つとなると考える。学校以外の場所での学習機会の創出について、区の見解は？

回答

学校に登校できなくても児童・生徒と教員との間で、顔を見ながらのコミュニケーションが図れるオンライン授業は有効と認識。1人1人の状況に応じた支援につなげるよう検討する。



Question  
8

新しい生活スタイルの中で欠かせないツールとなったのがマスク。これから到来する夏の猛暑の中でのマスク着用・使用時における高齢者への熱中症対策や、運動時の着用リスク、乳幼児等へのマスクの危険性について、啓発などに取り組んでいく必要があるが、区の見解は？

回答

ホームページを活用し、マスク着用時の熱中症予防対策については、継続的に情報を発信する。特に、高齢者には、新しい生活様式における熱中症予防チラシの配布や関係機関からの積極的な声掛けを依頼するとともに、乳幼児等については、ゆりかご面接や乳幼児健診などあらゆる機会を活用し丁寧に呼びかける。

Question  
10

感染症の対策として絶対的に収容人数が減少し、全ての方に対応できるわけではない。被災した時に被災状況を鑑みて、どのような状況であれば避難所に行くか、それとも在宅での避難生活を行っていくか、各世帯で考えてもらえるような啓発を推進していく必要がある。収容人数の想定を改めて定め、それと同時に、避難所だけの避難生活を避ける啓発の推進が必要だと考えるが、区の見解は？

回答

各避難所の状況に応じて、できる限りの対策を講じるとともに、自ら行う感染症防止対策を含め、自宅や友人宅等への在宅避難など、多様な避難の方法をご家庭で話し合っていたくよう、啓発に努める。



Question  
7

通信料について、現在、通信キャリア大手3社が「25歳以下の若者は50GBまで無料」という措置を取っている。こうした機を捉えて、葛飾区の児童生徒には、負担が少ない形で通信を行うことができるような契約方法など工夫・検討を深めていく必要があると考えるが、区の見解は？

回答

導入にあたり契約方法は、原則、入札やプロポーザル方式となるが、新型コロナウイルス感染症の長期化も念頭に、回線費用に係る負担を最小限にできるよう、キャリア事業者の通信プラン等の情報収集に努める。

Question  
9

第二波を含めて、再流行の懸念が残る中、複合災害への対策も喫緊の課題。学校避難所運営をどう行っていくのか、様々な議論を深めていく必要がある。学校との共有使用ができるものについては、共用で活用して重複を避けて欲しいと考える。また、今後は雨がっぱ等ビニール製の簡易な防護服、フェイスシールド、仕切り用の板や立て掛ける土台のゴムなどの配備検討が必要だと考えるが、備品に対する区の見解は？

回答

避難所内で新型コロナウイルスの感染を拡大させないよう、発熱等の症状がある方のための専用スペースを確保するほか、簡易な防護服やフェイスシールド、消毒液、使い捨て手袋、ハンドソープなど早期に必要な物品を配備できるよう、対応を進める。学校との共用備品については、教育委員会事務局と協議し、より効果的な備品の活用について検討する。



Question  
11

できる限り収容することが大前提だが、収容人数に限られているため、区の参集職員などに役割を担ってもらわなければならないと考える。その場合、区の参集職員には、事前に想定訓練などを実施しておく必要がある。同時に、感染症への判断を避難所運営会議の方や地域の方に責任と共に負わせる訳にはいかないことを考えれば、感染症に対する知識の習得と訓練など、併せて研修を行うべきと考えるが、区の見解は？

回答

区の指定職員への研修や避難所運営会議、開設訓練などの場を通じて感染症防止対策の知識習得に努める。

Question  
12

学校避難所において、COVID-19が疑われる方が出てきたケースについて、各避難所に任せるのではなくマニュアルの作成が必要。現在は、新型インフルエンザ感染症を想定したマニュアルが整備されているが、認識されていない状況であり、知らなければ整備していないと同様。これを機に、マニュアルの更新などを行い、配備と活用方法の周知を徹底して行う必要があると考えるが、区の見解は？

回答

既存の避難所運営マニュアルチェックリストに新型コロナウイルスを踏まえた更新をし、指定職員などが現場で具体的な取組ができるよう周知する。質問にあったトイレや出入り口の導線分離など、各学校の実情に応じた対策が講じられるよう、避難所運営会議や避難所運営訓練を通じて対策の実効性を高めていく。

Question  
14

災害時緊急医療救護所については、その名称から感染症との複合災害において間違った印象を持たれる懸念がある。行えることが限られていることや、その役割など、周知徹底していかなければならないと考える。また、COVID-19を想定した時に期待される役割に対して、不足している備品や追加する必要がある備品の再度チェックや、駆けつけてもらう医療従事者の再確認など、準備をしていく必要があると考えるが、区の見解は？

回答

緊急医療救護所の役割、また、状況に応じて適切な役割分担を図ることを予め区民に分かりやすく周知する。感染症との複合災害に備えて、防護服やフェイスシールドの備蓄の充実や医療従事者の確保など、医療救護所の体制について充実を図る。

Question  
13

症状が悪化した場合など、医療との連携も不可欠。震災で道路が破壊された場合や、水害で道路が冠水している場合など、車両での搬送が困難な場合の搬送方法を検討する必要がある。運べないのであればオンライン診療などの準備を各避難所において検討・練習する必要もあるが、区の見解は？

回答

今後発生しうる様々な災害を想定した搬送体制の構築に向け、医師会をはじめ、各医療機関と連携し取り組む。オンライン診療については、対応する医療資源や避難所側の体制整備などの課題があるため、今後、技術の進歩を注視しながら、積極的に対応力の強化を検討する。



Question  
15

COVID-19の影響により、掘切での一大イベントである「掘切かつしか菖蒲まつり」が残念ながら中止になった。6月であるため、緊急事態宣言の期間から外れ、東京都の協力金の対象からも外れているため、公的な支援が手薄になるのではないかと懸念している。区として支援策を模索し、支えていく姿勢をしっかりと示す必要があると考えるが、区の見解は？

回答

利子補給の全額補助、新型コロナウイルス対策緊急融資の創設、かつしかプレミアム付商品券のプレミアム率引き上げでの発行などを行っているが、今後も、商店会や区内中小企業などから話を伺い、その気持ちに寄り添い、区内の経済状況を把握しながら支援策を講じていく。



## うてな英明 プロフィール

学歴

- ・昭和53年(1978年)5月生まれ
- ・葛飾区立南綾瀬小学校卒業
- ・渋谷教育学園幕張高等学校附属中学校卒業
- ・渋谷教育学園幕張高等学校卒業
- ・成城大学法学部法律学科卒業

職歴

- ・株式会社 ぎょうせい(出版社)入社 教育図書担当に配属
- ・株式会社 日本教育新聞社に転職 教育の専門新聞社で勤務
- ・前衆議院議員 武正公一の秘書を経て
- ・2009年11月 葛飾区議会議員に初当選
- ・2013年11月 葛飾区議会議員選挙において次々点で落選
- ・4年間の浪人生活を経て
- ・2017年11月 葛飾区議会議員に2期目当選

現在、保健福祉委員会、都市基盤整備特別委員会、議会運営委員会、空家等対策協議会などに所属

# うてな英明 事務所

連絡先：〒124-0006 葛飾区堀切5-48-5

e-mail : info@hideaki-utena.com

HP : http://hideaki-utena.com

TEL&FAX : 03-3690-8320